

25. タイの国内人口移動—1980年代の動向— 渡辺真知子（嘉悦女子短期大学）
 <座長>大江守之
26. 大都市住民の地方移動に関する研究
 —Uターン・Iターンの動向— 小林由里子（日本総合研究所）
27. 東京都における人口移動圏 田村朋子（日本女子大学）
28. 地域人口分布と交通流動の関連性について 中村和浩（亜細亜大学）
29. Butz-Ward モデルの再検討
 —日本における適用可能性— 加藤久和（電力中央研究所）
30. 教育コストを入れた人的資本の推計 小沼博義（関東学園大学）
31. 近年の合計出生率低下の要因分析 廣嶋清志（島根大学）
32. 都道府県間出生力格差の分析
 —女子の時間配分の観点から— 今井博之（国立社会保障・人口問題研究所）
33. トルコにおける有配偶女子の就業と出生 小島宏（国立社会保障・人口問題研究所）
34. 二世世代の結婚年齢に対する規定要因
 —メキシコ系移民の家族ストラテジーの視点から— 三澤健宏（El Colegio de la Frontera Sur）
35. 19世紀中葉の英国ウィリンガム教区における人口・家族・経済
 伊東栄晃（関東学園大学）
36. スウェーデンの人口転換について 千場輝一（城西大学）
37. 近世日本の人口現象の特徴 石原正令（関東学園大学）
38. 江戸期の宗門改帳から乳幼児死亡率を推計する際の課題
 木下太志（江南女子短期大学）
39. 明治初期多摩戸籍にみる結婚と出生
 —同居児法分析を中心として— 黒須里美（国際日本文化研究センター）
40. 国調以前日本の出生と乳児死亡 鬼頭宏（上智大学）

（佐々木司記）

日本労務学会

日本労務学会第27回大会は、愛知学院大学において6月20～21日の両日開催された。統一論題『21世紀初頭の労務問題』のもとに6報告2シンポジウムがもたれたほか、自由論題32報告がおこなわれた。

第1日目午前には仙田幸子が「女性管理職割合の高さと関連する組織特徴についての探索的検討」のタイトルで報告をおこなったほか、職業生活と家庭生活の両立に関連した報告が数本おこなわれ、人事労務においても結婚・出産・育児が重要なテーマになっていることがうかがわれた。

（仙田幸子記）